

— 製造プロセスから製品規格、用途まで —

狙い

鋼管の製造工程から製品の特徴までを分かり易く解説。
 製品の規格、カタログ、ミルシートの内容の理解ができるようになります。
 鋼管の種類と特徴、用途(配管・塗覆装鋼管、建築構造用鋼管、ボイラー・化学工業用鋼管、自動車用鋼管、油井管、ラインパイプ)や今後の脱炭素社会での新たなニーズについて広く学ぶことができます。

対象者

鋼管の販売、営業所、商社、加工センター等の営業系社員

募集人数 20名/回
 最少催行人数 10名

開催期日(2日間通い研修)

第8回 12/19(木)～20(金)

参加費 55,000円/名

(参考書と2日目昼食費含む、消費税込)

場所

鉄鋼会館(東京)

特徴

1. 鋼管の製造工程、特徴と用途を学び実際のサンプルで確認いただけます。
2. 鋼管の品質、規格について学びます。
 試験片を使用した実習で鋼管の製造方法、品種毎の寸法精度、特徴について体験学習できます。
3. 参考書、事前テストで鋼管の基礎知識、用語を学んでいただき、講義で学習した最後に修了テストを行い理解度を確認できます。



化学プラント



鋼管杭

用途例

講師 鋼管の製造、商品開発、プロセス研究開発に携わった経験豊富な鉄鋼メーカーOB

カリキュラム(予定)

< 事前課題 >

・事前テスト

< 1日目 >

12:30受付開始

13:00 開始

- ・鋼管の市場規模
- ・鋼管の製造方法
- ・二次加工
- ・試験・検査方法
- ・鋼管の規格、表示・梱包

18:00 終了

< 2日目 >

08:30(会場開門)

09:00 開始 12:00～13:00 昼食

- ・【実習】鋼管測定実習
- ・用途別各論 配管・塗覆装鋼管
- ・ボイラー・化学プラント用・原子力発電用
- ・自動車用、建材用鋼管
- ・油井管、ラインパイプ
- ・2050年脱炭素社会に向けて
- ・修了テスト

17:00 終了

受講者様の役立ち度ご評価

4.4 (5点法)

(2022年10月～2023年11月)

受講者様の声

- ・パイプ毎の製造法の違いに加え使用上の留意点や背景もご説明いただいた事でイメージしやすく、理解することができました。(20代)
- ・脱炭素のキーワードに関連する商品は役に立つと感じました。(30代)